特別賞

都市計画道路 向中野安倍館線夕顔瀬橋架換整備事業 （盛岡市）

■表彰対象者：岩手県土木部

事業のあらまし

本橋は、盛岡を代表する北上川に架る西の玄関口であり隣県秋田県より中心市街地に入る盛岡都市圏の幹線道路網の都市環状線に位置づけられている。この事業は街路事業による夕顔瀬橋架換工事として実施された。

事業の効果

本市がもつ自然環境や豊かな歴史的資産を生かし「盛岡らしい景観」を配慮しかつ、北西部地区から交通車両の増加に伴う交通渋滞を解消し都心環状線として、その一役を果たしている。

大火から街を守る石灯籠

全景（北上川左岸部より）

●橋長：93.0m
●幅員：25.0m
●全体事業費：3,060百万円
　うち街路事業費：2,480百万円
●事業期間：昭和63年度～平成５年度

銚子駅前広場

海をイメージした街路施設

開放感あふれるシンボルロード

銚子駅前通りシンボルロード整備事業 （銚子市）

■表彰対象者：千葉県銚子市建設部都市計画課

事業のあらまし

銚子駅前線は、整備後40年の経過による老朽化と、車社会対策のため、再整備が必要になった。そのため、本市の目指すリゾート都市の玄関としてふさわしい、魅力あるシンボルロードとして整備した。

事業の効果

シンボルロード全体で、「海の街・銚子」を演出することによりリゾート都市の玄関として魅力ある空間が創出された。

●延長：610m
●幅員：36m
●全体事業費：1,404百万円
　うち街路事業費：1,404百万円
●事業期間：昭和63年度～平成５年度

都市計画道路 由比ケ浜関谷線 （鎌倉市・横浜市）

■表彰対象者：神奈川県藤沢市土木事務所

事業のあらまし

本路線は鎌倉市と国道１号とを結び、湘南地域と横浜地域の連絡を強化するとともに、良好な市街地の形成をはかるために整備を行った。また、湘南地域の入口としてふさわしいデザイン、色彩を使用し、景観的にもイメージアップを図った。

事業の効果

本路線の整備により、住宅地に入り込んでいた車が排除されたほか、湘南地区の玄関口として明るく軽快なイメージと、湘南地域に入ったことが自然に感じ取れる景観が演出されるようになった。

●延長：1,617m
●幅員：15～22m
●全体事業費：6,300百万円
　うち街路事業費：6,300百万円
●事業期間：昭和44年度～平成５年度

周辺環境と調和した道路空間

明るく爽快な湘南の玄関口

遠景

市民の健康づくりの場としての「さざなみロード」

諏訪湖一周ジョギングロード

都市計画道路 湖周線整備事業 （諏訪市）

■表彰対象者：長野県諏訪建設事務所

事業のあらまし

本路線は、諏訪湖を一周する道路の一部として、周囲の自然と調和を図りながら、周辺都市間の連絡、市街地の渋滞緩和を目的に、ジョギングロードも併せ持った幅員24m街路として整備を行った。

事業の効果

当路線は、諏訪湖畔という恵まれた立地条件から、愛称「さざなみロード」と名付けられ、湖畔側へ緑地、ジョギングロード、休憩施設等を設置するなど、ゆとりを持った親しみやすい街路整備を行った。

これにより、渋滞解消、地域の幹線道路として効果はもとより、健康・体力づくり、更には、観光・交流等レクレーションの場としても大いに歓迎されている。

●延長：2,570m
●幅員：24m
●全体事業費：3,500百万円
　うち街路事業費：3,500百万円
●事業期間：昭和61年度～平成５年度

駐車場案内システム整備事業 （熊本市）

■表彰対象者：熊本県熊本市都市計画部都市計画課

事業のあらまし

熊本市中心市街地の既設駐車場においては、その規模や立地条件等により需要の片寄りが著しいため、これらの効率的利用を図るとともに交通混雑を緩和するため、駐車場案内システムを導入し、駐車場の満空情報、道路の渋滞情報などを提供するものである。

事業の効果

駐車場案内システムに加入した駐車場については、その利用率が向上し、加えて駐車場利用の平準化についても大きく寄与しており、車社会に対応した快適な都市環境づくりが進んだ。

ブロック毎の駐車場満空情報、道路渋滞情報等提供

各駐車場のルートを案内

各駐車場の満空・ルートを案内

●システム構成：コントロールセンター
　案内板　駐車場端末機
●全体事業費：678百万円
　うち街路事業費：648百万円
●事業期間：平成４年度～５年度

整備されたJR宮崎駅

立体交差された市道一ツ葉通線

旧鉄道敷を利用して整備された自転車歩行者道

日豊本線宮崎地区連続立体交差事業 （宮崎市）

■表彰対象者：宮崎県土木部都市計画課

事業のあらまし

宮崎市では、ＪＲ日豊本線が市街地を東西に分断しているため、踏切事故や交通渋滞が生じ、健全な都市の発展が阻害されていた。

本事業は、この様な問題を解消するため、宮崎駅付近約3.4kmの鉄道を高架化したものである。

事業の効果

鉄道の高架化に伴う踏切除却や交差道路の整備により、踏切事故や交通渋滞を解消し、東西市街地の一体的な発展の促進が図られた。

●延長：3,440m
●踏切除却：７箇所
●交差道路：21箇所
●全体事業費：14,915百万円
　うち街路事業費：14,915百万円
●事業期間：昭和61年度～平成５年度